

1 日 時 平成23年7月25日（月）午後3時～5時

2 場 所 府中市役所北庁舎3階 第3会議室

3 出席者（敬称略）

（1）委員15名

川内 清文、小林 繁、小林 清次郎、坂本 智子、澤井 幸子、設楽 厚子、
芝 喜久子、鈴木 映子、田野倉 晴美、寺谷 弘壬、戸島 忠彦、
平形 芳郎、比留間 一磨、三宅 昭、山内 啓司

（2）職員4名

澁谷生涯学習スポーツ課長
茂木生涯学習スポーツ課生涯学習推進担当副主幹
市ノ川企画係長、大木

4 開 会

- ・会長より挨拶
- ・課長より挨拶

5 連絡・報告事項

（1）配布資料の確認

- ①レジュメ、②第3回生涯学習審議会会議録（案）、
- ③東京都市町村社会教育委員連絡協議会 ブロック研修会事業計画書
- ④東京都市町村社会教育委員連絡協議会 第1回理事会の開催について
- ⑤平和のつどい2011チラシ

（2）前回議事録の確認

各委員に校正を依頼した会議録（案）は、一部校正後、市民に公開すること、ホームページに掲載することが了承された。

（3）社会教育委員連絡協議会第5ブロック理事会の報告について

- ➡ 7月14日午後1時より、三鷹市の教育センターで、第5ブロックの事前打合せに芝会長と事務局が出席した。今年度の幹事市は三鷹市で、統一テーマが「学びあい育ちあい、関わりあう地域をつくる～地域を包み込むネットワークづくり」ということで、まずは第5ブロックの研修テーマを検討した。活発な議論があり、3月に発生した東日本大震災をうけて、「学校」が避難所など地域の様々な拠点になるのではないかということで、研修テーマとしては「「学校」を拠点とした地域のつながり～東日本大震災を経て、これからの地域コミュニティづくりを考える」とい

うふうに三鷹市にまとめて頂いた。今回、事例発表をするのは、三鷹市、府中市狛江市で、各自治体における学校、地域、家庭ですとか、保護者や地域住民、学校支援ボランティアによる、これからの学校施設の外資、地域住民の協力による防災訓練などの事例の発表を行うことになりました。この3市については、持ち回りで昨年度は合同3市小金井、調布、武蔵野でしたので、今年はこの3市が対象になる。三鷹市と狛江市の発表者は決まっており、各市の小中学校の校長がする事になっている。

- 事例発表を三鷹市、府中市、狛江市の3市が行ったあと意見交換する場があり、情報交換など話し合いのできる時間となっている。その会終了後、会費制(¥2000)ではあるが懇親会があり、いい情報交換の場になりますので参加して頂けたらと思う。府中市の事例発表者を審議の最後の時間で皆様と相談させて頂きたい。
- ➡ 今年、三鷹市でしたが来年は府中市がこの研修会の幹事市になるので、ぜひ積極的に参加して頂き、事務局と共に皆様に様々な判断をお願いしなければいけなくなるので、ぜひ参考に見て頂きたいと思う。

(4) 社会教育委員連絡協議会理事会について

- ➡ 7月28日午後3時半より多摩市役所で実施される予定。理事会ですので芝会長に出席して頂くことになっている。こちらの内容については、次の審議会で報告をさせて頂きたい。

(5) 第53回全国社会教育研究大会(京都大会)について

- ➡ 9月20日～22日に実施される予定。芝会長と鈴木委員に出席して頂く。

6 選出母体の説明について

(1) 前回

- ①府中市における生涯学習社会教育分野に関する環境について
- ②府中NPOボランティア活動センター
- ③生涯学習ボランティア悠学の会
- ④自主グループについて、その4つの説明を受けさせて頂いた。今回、その他の機関から選出された方から説明していただく。

[意見の趣旨] ■ : 委員 ➡ : 事務局

【文化連】

- 府中市文化団体連絡協議会があり、この加盟団体は39加盟団体ある。その中に府中市映像連盟があり、そこの会長として活動している。活動内容として、大きな行事

は秋の文化祭で、今年は 47 回目の芸術文化祭になる。文化連の定期総会もあり、その会計をしている。

府中市の映像連盟は、かつては映像祭として「映画まつり」と「ビデオまつり」をやっていたが、近年事業熱の高まりとパソコンの普及もあり「ビデオまつり」が主流になっている。また、個人的に「東京映像メディア研究会」に属している。

府中市文化連の各団体では勉強会として子ども向けの茶道教室・生け花教室・民舞民謡教室など主催し、後世にも伝えるべき伝統文化を活発に展開している。これには、府中市から補助金も出ている。

- 市民の方も色々趣味が多様化しているのでこの様な文化連の団体は今後増える傾向にあるのか？
- ぜひ増やしてほしい。新しい分野でも推薦し協力していきたい。
- 39 団体の方達が一同に集まっての会は何回ぐらい開かれるのか？
- 年に常務理事会は 3 回で、総会を入れて 4 回となる。他に運営委員会が 3 回あるが、全員ではない。

【府中市青少年対策地区委員会】

- 府中市には公立の小学校が 22 校、中学校が 11 校あります。その中で中学を母体としている。

〈目的…本会は青少年の健全育成を図るため地域・社会の力を結集し府中市青少年問題協議会において施策に協力すると共にその構成に属する青少年関係機関団体等の補充の役割により効果的に果たすためその施策の実施について連携調整を図り、かつ地域の必要に応じた施策を実施し、もって青少年をめぐる社会環境の浄化を図ることを目的としています。その目標と致しまして青少年をめぐる社会環境浄化に関すること。校外生活指導と青少年の●●指導に関すること。青少年団体の指導、育成に関すること。働く青少年の指導育成に関すること。家庭及び両親教育の進行に関すること。児童福祉対策の強化に関すること。その他青少年の健全育成にいて必要なこと。〉

各地域によって、それぞれ委員長・副会長・会計などの構成で行っている。

第 8 地区は八中を母体として住吉小学校、四谷小学校、日新小学校の四校で活動している。地域、季節応じて違うが、色々な行事をしている。ちびっこ相撲大会、サマーフェスティバル、音楽会、凧揚げ大会など子ども達に関する色々ことをしている。

住吉小学校で行われた、ちびっこ相撲大会も大勢の皆さんがいらしてくれて、男の子も女の子も一緒になって相撲をとった後、手作りしたちゃんこ鍋を参加者に食べていただいた。大勢の子ども達、地域のお父さん、お母さんもいらして頂いてコミュニケーションをとれる場となった。そのように学校と地域と連携し、子ども達が元気に通学でき

るようにする。そして色々な形でボランティアをしながら、子ども達をあたたかく見守っていきたいと思う。そして綱引き大会もあり、本格的に体育協会の方が指導して下さって、大勢の子ども達や応援の方がいらして、府中は素晴らしいことをしていると思います、私達も陰ながら応援しております。そういうかたちで校長先生はじめ先生方と一緒に、できれば子どもが●●●●ただ今こういうご時世なのですぐ苦情がきたり、子ども達がなかなか外で遊ぶ場所がなく、外では遊ぶことが少ないので、体育館とか文化センターを利用して頂いて、子ども達が健全な生活ができるように青少対としては続けていく次第です。

- 正式名称…青少年対策地区委員会。学校地区で活動している。広報も再正紙を使って年2回作っている。
- 何ブロックで結成されているのか？
- 11ブロック。
- 11校で府中市青少年対策地区委員会というのは一つなのか？
- 一つの中学校に対して小学校2～3校かかわって活動している。
- 一つの小学校からの複数の中学へ別れて行く場合もあるのか？
- そういう場合もあります。
- 相撲大会は民間企業とタイアップしてやっていることはないのか？
- ないです。
- 青少対の委員は何名ですか？
- 地域によりますが、第8地区は現在56名です。

【体育協会】

- 先ほどの青少対の〇〇委員のお話しですが、中河原は相撲好きな人が何人かいて、相撲を核にして色々なスポーツ団体が集まって一つのクラブが出来た。地域のクラブの進め方が上手という事で20年位前に賞を受けた。核になる人がいた。何でもそうだと思うけれど核になる人がいないとうまく出来ないかなと思う。

体育協会は今30団体ありまして、再来年、東京国体の野球とサッカーの一部を府中がやります。卓球は全部府中でやります。これから大会に向けて色々忙しくなると思います。一番基本は、簡素に、しかも市民が全員参加できるような雰囲気をもっていこうという基本理念があるので、その時にはまた、皆様お願いする事になると思いますが宜しくお願いします。

- 30団体は大人の団体？

- 体育協会というのはチャンピオンスポーツで、今流行りの地域スポーツとは違う。相撲・野球・サッカーなど勝ち負けを決めるスポーツの団体の集合体として30団体まとめるのが大変です。
- 澤さんがいた府六は、前から強かったようだ。
- 澤さんは小学校、子どもの時のサッカーで、今の府中市のサッカー連盟の人はほとんど知らないのではないかと？神戸で住まいをもって神戸のチームで活躍している。府中市の人はあまり知らないのではないかと。お母さんは府中市にいたようだが、大変苦労してやっていたようだ。

【福祉・民生委員】

- 民生委員というのは皆さん聞いたことはあると思うが、どんな中身の内容の事をしていのか、ご家族や親戚の方がいらっしゃれば活動がわかると思うが、なかなか皆さんには理解出来ない福祉の仕事だが、民生委員というと皆さん高齢者相手と思われるのですが、民生委員というのは0歳～高齢者まで全てにかかわっているボランティアといえますか…。資料を見ると民生委員というのは大正6年にできたそうで、市の活動を説明すると7月15日現在で府中市の民生委員が170名いる。今、欠員が出たり、新しく入ったりする方がいるか分からないが、この時点では170名いる。府中市内を6つに分け、1地区～6地区で構成されている。その中にさらに部会があり、6部会と言って6つの部会に分かれている。

6つの部会は…児童部会・障害部会・生活部会・高齢者部会・子育て部会、そして児童を中心とした主任児童委員。活動としては、6地区の地区部会は8月を除く毎月1回、勉強会をしている。6部会に関しては年間4回の活動を行っている。その他に全体で集まる全体会が年3回行っている。

0歳児は、府中広報に載っていると思いますが、毎月1回、保健センターで行われる、若いお母さん方の幼児食・離乳食の作り方の講習会のときにお母さんが離乳食を作っている間、保母さんと一緒にお子さんをあずかるお手伝いをしている。

0歳～6歳児まで幼児を“しらとり”という所で毎月2回、各地区4名出て、これも若いお母さんとお子さんが、おりがみ・おもちゃ・ねんどなど、集団になれるようなお手伝いをしている。

小学校・中学校は年に1回、自分の担当地域の学校訪問を行っている。校長先生、教頭先生、学校主任の先生と情報交換をしている。このリーフレットは各小学校・中学校の各自一人一人に配布している。その他にこのリーフレットは各文化センターにも置いてある。

リーフレットの大きな項目として、民生委員・児童委員・主任児童委員は、地域の身近な相談相手、市民と行政を結ぶパイプ役、福祉情報の提供、地域の子育ての応援を主な活動としている。主任児童委員とは児童を専門に行っている。

1年間の民生委員の活動として、4月は今年3月に震災があったので各地区から副会長と社共とボランティアで一ヶ月間、出られる日にフォーリスの前と駅前街頭募金を行った。5月は皆で楽しむ軽スポーツ大会に何名か参加している。7月は社会福祉協議会の高齢者保養事業として、一人暮らしの方の日帰りのバス旅行のお手伝いが各地区1名～出て手伝いをしている。9月が一番大変なイベントで、敬老金のお祝い金配りが、70歳、77歳と節目の方たちの各家庭に配布している。この事業が一番大変で6地区まである中で府中町は1番件数が少ないが、少ない方で一人20件程度、一番多い新町の高齢者世帯になると一人100件近くのお祝い金を配布している。それから敬老大会は芸術劇場で、一昨年までは午前の部・午後の部で記念大会があったが、あまりにも高齢化で去年から3部制に分かれ、芸術劇場で行うようになったので、各地区9名、6地区なので54名の応援で市役所の方と一緒に手伝いしている。あと9月は身障者の運動会にも参加している。10月は中央公園で福祉まつりがあり、これは全員対象で自分達のバザーに出せる出店品を3点以上持ち合ってバザーを行っている。12月は第1週の2日間に街頭募金、歳末助け合い募金を社会福祉協議会の方と一緒にやっている。

その他に去年初めて災害時キッドといって、500ml位のペットボトルの大きさに個人情報、常備薬・緊急連絡先などを書いて頂き、震災の備えてそのキッドまま冷蔵庫に入れて頂くようにその配布も去年は大変だった。

- 民生委員さんは仕事が多く、お年寄りの見守りをよくやっているのだから一人暮らしの方と地域では顔見知りという方が多いと思う。
- 震災があったので一軒一軒見回ったのが大変だった。一番かわいそうだったのは、買占めがあったので食料がなかった。足が不自由なのでタクシーでスーパーに行ったら何も売ってなかったと言われ、返す言葉がなかった。
- 見出しの民生委員・児童委員、主任児童委員とあるが、児童委員と主任児童委員は違うのか？
- 民生委員・児童委員というのが前からあった制度で、16、7年前に子ども対応が必要ではないかという事で主任児童委員ができた。主任児童委員というのは主任ではなく、主に児童を中心にするという意味で、民生委員・児童委員はお年寄りからお子さんまでを対象としている。
- 高齢者を見守るための情報というのは引き継いでいくのでしょうか？個人情報の関係で全くそういう記録をとらないという市があると聞いた。

- 引き継いでいる。各市で違って、調布市などは全くとってないと思う。勉強会で他市の方と会うと民生委員によっても全く違う。生活保護が増えているので生活保護の民生委員の方たちは各家に回っていると聞いた。府中市の場合はケースワーカーいて生活保護一覧というのを民生委員に配布している。一人暮らしの高齢者リストと生活保護リストは古いものは返却し、毎年最新のものを頂いている。市町村によってやり方が違う。
- 民生委員が所属しているのは厚生省だったか？
- 東京の臨時職員で、都民連の方の研修にも参加している。
- でも府中市からも福祉員として…
- はい。重複している。

～休憩～

【ファシリテーター】

- 講座は昨年に引き続き、昨年参加した人を対象に中級の講座を3回程受けている
- ➔ 現在、ファシリテーター養成講座の初級と中級を実施しており、昨年は初級のみ、今年の中級と今年改めてやっていくという事で初級、昨年は全体のコーディネイトを小林先生にお願いした。今年も第1回と全体についてお話して頂いた。

【人権養護委員】

- 人権養護委員は昭和24年に人権養護委員法が制度化された時に法務大臣の委嘱で全国に1万6千人都内では420～430名、府中市では10名いる。法務局と連携・協力して人権養護にあたるボランティアをしている。

人権養護委員の活動は主に3つある。常設・特設の相談所での人権相談活動、2つ目が人権の大切さを多くの人々に知って頂き考えて頂くための様々な人権啓発活動、3つ目が人権侵害をなくし明るい社会をつくるための救済活動の3つの活動が柱となっている。

特設の相談所での活動について、府中市では月2回、人権身の上相談というものがある。委員が10名で月2回あるので、一人は月1回、担当することになっている。そして法務局の府中支局が学園通りにあり、そこに常設相談が毎週木曜日にある。それは多摩13市の委員80名が交替で行っている。それから自宅での電話相談もある。時々かかってくる。

人権相談というのは、相談者の悩みの解決に向って、本人の気持ちで結果を出せるようにお話しを伺っていく。勿論、守秘義務が課せられているので、その内容をお話しする事できないが、その人達の中に時間が沢山あるために、一つの事に気持ちが行ってし

まい、いたずらに悩んでいる方がいる。そんな方には、趣味の話とか何か好きな事はないか、打ち込むことはないか、というような事で、文化センターの自主グループや生涯学習センターの講座などを紹介させて頂いている。

啓発活動は人権の大切さを多くの人々に知っていただくためという事で、子ども達にその大切さを学んでいただくということで、小学校には「人権の花」運動をしております。これはプランター・土・種を学校に配布して、種をまいて育てる事で、命の尊さを学んでもらっている。中学生には人権作文コンテストで作文を書いて頂いている。これは全国、法務省の全国版です。府中の場合は12月に作文発表会があるので、小学校の3年生～6年生に人権作文を書いて頂くように啓発している。府中で行われる人権作文発表会は、実行委員会形式にしているので、学校・青少対・P連関係等、色々な団体方に協力して頂いて、作文発表会をもっている。今年も12月10日（土）芸術劇場である。皆様にはご案内を出させて頂くので、ぜひ子ども達の様子を見て頂きたいと思う。

啓発活動として、その他、幼稚園・小学校を対象に要望に応じて人権教室を開いて、思いやりの大切さなどを伝えている。先ほど13市と言ったが、多摩東人権養護委員協議会というものが13市で構成されており、その協議会の中では12月の人権週間の映画講演や集い等、あるいは子ども人権メッセージ発表会などさまざまな啓発をしている。

救済活動は本人が希望した場合、法務省・法務局と協力しながら救済活動に入っていく。人権啓発や相談、救済活動の話をさせて頂いたが、やはり隣近所との連帯感が希薄化している、孤立化しているというような社会であるのを13市の委員全員が感じている。そういう中でやはり弱い立場になるのは子ども達なので、子ども達のために色々な啓発活動をしていかななくてはならない。今、一生懸命活動している。

全国中学生人権作文コンテストは、府中市では小学校から作文を書くことを一生懸命にやって、先生方が指導してくださっているなので、作文力があり全国で賞を取ったり、都の大会で賞を取るなどかなり活発に中学生がご褒美を頂いている。府中市だけの作文集も出している。今度お持ちしますので読んで頂きたい。

- 人権作文の事について、発表する子ども達が本当に素晴らしい。文章を書く事はすごくいい事だと思う。
- 中学校で3000、小学校で6000程の応募がある。学校の先生方のご指導があっていい作文が出てくるのかなと思う。先生方のご指導の賜物だと思う。本当に真摯に優しさや生活の部分を一生懸命考えながら書いているのだと思う。こういう子ども達がいたら、まだ日本も大丈夫と感じさせて頂ける。
- 人権作文コンテストのビデオ撮影を市川先生という方が依頼されていたが、なくなってしまったが、その後は続いているのか。
- 写真のみでビデオは撮っていない。冊子になっている。

- 私も毎年、楽しみに聞きにいつているが、本当に素晴らしい。すごく心が洗われるような気持ちで、レベルがすごく高いとつくづく思う。
- 積み重ねなので、どの学校でも募集というかたちだが、ほぼ100%書いている。
- 府中市の学校がいいなと思うのは、子どもが人権作文に向き合うだけで自分の気持ちと向き合えるのだと思う。

- 前回は発表して頂いたことも含め何か質問はあるか。
- 最近、児童の虐待で人権養護委員の活動が大変だろうと分かったが、児童の場合は誰かがいないと訴える事が出来ない。そういう時はどうするのか？
- 民生委員と一緒にだが、こちらから地域で子ども達がどんな状況かということは何気なく気配りしている。
- 作文の上手な子は大丈夫だと思う。作文の上手な子は人権委員のお世話になるような人はいないと思うが。
- 作文のなかに多少ある。子ども達は正直に書いてくれるので、そういう時はすぐに学校に相談に行く。そして学校の先生と相談して対処していく。
- 人権養護委員が目にするべきなのは、虐待を受けている児童をどのようにして発見するのか。夜、泣き声があるなど新聞に出ている。その対処はどうしているのか。どこから情報はとるのか。
- 日頃の話の中で啓発はしているが、直接「こういう事がある」ということはあまり聞かない。直接、児童相談所や警察に連絡するように話はしている。即、警察に相談というのもやっている。
- くるるに入っている「たち」は子ども支援センターなので、力を入れて虐待や育児放棄などの相談もやっている。
- ただ「たち」などは耳新しく分かりにくいので、110番すればそこから必ず繋がっていく。あるいは役所へ電話する。
- そういう事がある場合、隣近所に知られたくない事が多いみたいなので、つい行動する時に●●が小さくなってしまふ。NPO 法人の方でも具体的な活動は分からないが、子ども達の勉強を教えながらそれを通じて色々状況を把握している。
- 選出母体という部分で私達それぞれ機関の話をしました。

【学識経験者】

- 私は青山学院大学の教授を助教授から教授を32～3年やりまして法政大学・明治大学・慶応大学・一ツ橋大学では非常勤講師として教えた事がある。青山学院では社会学・国際社会学・ソ連研究をしていた。

府中市との関わりは、30年程前、子ども達の作文を本にしたものの中に、大人が一人書くようにということで、私は神戸で第2次世界大戦の被災者で、幼稚園230人中生き残ったのは7人で逃げるのが一番早かった。幼稚園の先生は御真英の中で焼け死なれたという話を書いた。

その次は、高齢者センターの答申の委員を仰せつかった。その後、1988年～1990年にかけて国際交流推進委員会というのを府中が立ち上げ、その委員長を務め、答申をした。それから4～5年前に府中の方が来られて、この委員を2期務めている。教育センター、グリーンプラザでも話しをしている。こういう会の多摩地区の委員会があり、小金井で地域問題・自治体というようなテーマでお話しをした事がある。

- 府中市と明治大学の連携で、ファシリテーターの養成講座をしている。昨年、社会教育、生涯学習の関係で引っ張りだされた。おそらくその関係で、この審議会委員を依頼されたのではないかと思う。従って、私は直接府中市と関わりがないので、勉強させて頂きたいと思っている。東京都教育委員会の社会教育の関連で、府中青年の家に関わったことがある。府中含めて7つの青年の家廃止になってしまった。非常に残念だった。協議会でも議論が分かれ、実はほんの何票差で廃止ってしまった。

東京都全体で言うと、障害者の学習支援や人権教育についてお仕事をさせていただいた。1995年～2004年に、国連の人権教育の10年を中心に進めていこうということで、東京都教育委員会で、啓発ビデオを作ることになった。従来だと、だいたいストーリーを作り有名な俳優を使うが、リアルな方がいいという事で若者達を使ってビデオを作ったが好評だった。

- 府中市の学校教育の方向性を決めているのに、学校教育プラン21というものがある。全ての教育に対しての方向性を示しているが大きな目玉として、一つがセカンドスクールというものを今年から始めた。子どもに体験をもっとさせよう、子どもの体験が少ないのでは、という事で今まで移動教室を2泊3日の宿泊の学習を行っていたが、一気に2倍の4泊5日に今年からした。それから学区の見直しを行い、来年度から新しい学区で学校の線引きを行う。府中市の場合は人口が増えていく度に、全体を見直して継ぎはぎのようになっている学区をもう一度自然体で見直して分かりやすい学区にしようというねらいで、来年度から始まる。3点目は小中連携。中1ギャップとって、中1になると不登校が増える。小学校から中学校への学習環境の変化などで、学校に不適應な子どもが増えるので、そういったことをなくすという事で、例えば部活動をお互いに見合っって小中学校の部活動に一貫性を持たせようとか、生活指導の話し合いを重ねていこう等、小中の連携をとって行こうとやっている。

施設面では、校舎の耐震工事・改築（十小・五中）を現在進めており、改築中を含めて、あと1～2年度中に全ての学校が耐震工事を終える。それから空調機を全ての教室

に入れた。三多摩地区のなかでもまだ入っていない市町村もあるが、夏場の暑い環境の中で子ども達も勉強するのは大変だろうということで多少軟弱になるのではという意見もあったが、特に上の階が照り返しなどで暑く、今まで扇風機を入れてあったが今年から府中市では全校にエアコンを設置して頂いた。校庭の芝生化（五小・二小・白糸）の3校が実施校だったが、今年はまだあと2校（一小・八小）の芝生化を実施していく。これは都の取り組みの一貫ですけれど、地球温暖化や子ども達がけがをしないようにという事もありまして府中市でも少しずつ進めていく。

【第5ブロックの研修会】

- 府中市が事例発表の当番になっている。三鷹市・狛江市は学校の先生にお願いして事例発表して頂くことは決定している。府中はどうするか。
- 学校を拠点とした地域の繋がりという研修テーマとすれば、学校の事例をだしていくのかと思う。副題として東日本大震災を経てというのがあるが。
- そこは特に気にしないでいいと思う。小林さんが小学校で「地域ふれあい広場」といって、いざという時は学校が避難所になるので、お家の方やお友達、地域の皆さんと一緒に学校に泊ってみる、という事をやってらっしゃるので、これが事例となって出てくると思う。それで災害という部分が出てきたのではと思う。三鷹市は小中一貫教育校の特色いうかたちでお話しされる。もしできたら、川内先生と事務局と私達と相談して色々ことを進めていくという方向でよろしいか。
- ちょっとお聞きしたい。府中ならではのものを出していかななくていいのか。
- 府中では、学び返すという部分で去年・一作年ここ何年間かテーマとしてやっているが、それを学校が関係しながら学校と地域の中で沢山あると思う。そういう所が府中ならではのものではないかと思う。その他の話は具体的に聞いてみる必要がある。
- 学校支援ボランティアという活動はないのか？
- 学校支援ボランティアとしての明確な位置づけはないが、実質的には保護者の方が入っていくことはある。本校では農園活動、水田活動など、そういった事で保護者や地域の方に随分お手伝いをして頂いている。
- 校庭に水田があるのか。
- いいえ、お借りしている。
- お餅つきはやるのか。
- 餅つきまではやっていない。おにぎりを握って食べるくらい。
- 本宿小学校の話に限らず、他の学校の話も聞き入れながらやっていただいてもいいかなと思うのでそこら辺はおまかせしてもよろしいか。

- 去年まで委員をしていた〇〇先生のお話していた地域との関わりなど、そういう話も入れてはどうか。
- はい。ほたるを飛ばしたりしていた。色々他の学校の先生にも協力して頂きながら考えてくという事で。ではその件に関してはかわうち先生とご相談させて頂きながら進めていきたいと思います。

■ 第5ブロックの研究会の日程

10月22日（土）午後2時 三鷹産業プラザ

【本日の感想】

- 専門的な事が分からない状態で、はたしてそぐうのかなという感じをもっています。実際に外へ出てボランティアとかやった事がないので、色々新しい事が吸収できるのかなと思う。
- 色々多くの活動をされている方がいらっしゃって、府中市の親元というか土台になっていると感じました。しかし、すごい活動をされているのに、あまり表に出てこない所が残念に思った。今後、色々な形で市民の方に知らせる事も必要だと思った。
- 色々な団体が継続的に大きな活動をされていた事を感じた。我々一市民としては、それがなかなか理解できなかったという所があるので、もう少し市民に分かりやすい、入りやすい、そして市民の意見が直ぐにそこに反映されるようなかたちで発言させて頂ければと思う。

■ 次回の議題は何か

- 次回は諮問を頂いているので、それに入っていきたいと思う。また必要な書類等、欲しいものがあれば事務局の方へご連絡をお願いしたい。

7 その他

次回審議会について

- ➡ 8月については、夏休み中という事で開催を例年していない。今年度も8月については休会としたいと思う。9月の最終月曜日は、議会の関係で事務局側が参加出来ない。10月22日は第5ブロック研修会なので、9月と10月の開催日の間で、通常は最終月曜日に開催しているが、10月3日(月)か11日(火)のどちらかで開催させて頂ければと思うが、いかがか。

【次回審議会】

10月3日（月）午後2時 場所は追って連絡